

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	グリーン海事株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市港区入船2丁目4番6号
工場等の名称	グリーン海事株式会社
工場等の所在地	名古屋市港区入船2丁目4番6号
業種	サービス業（他に分類されないもの）
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	名古屋港に入出港する船舶に対する曳船作業
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

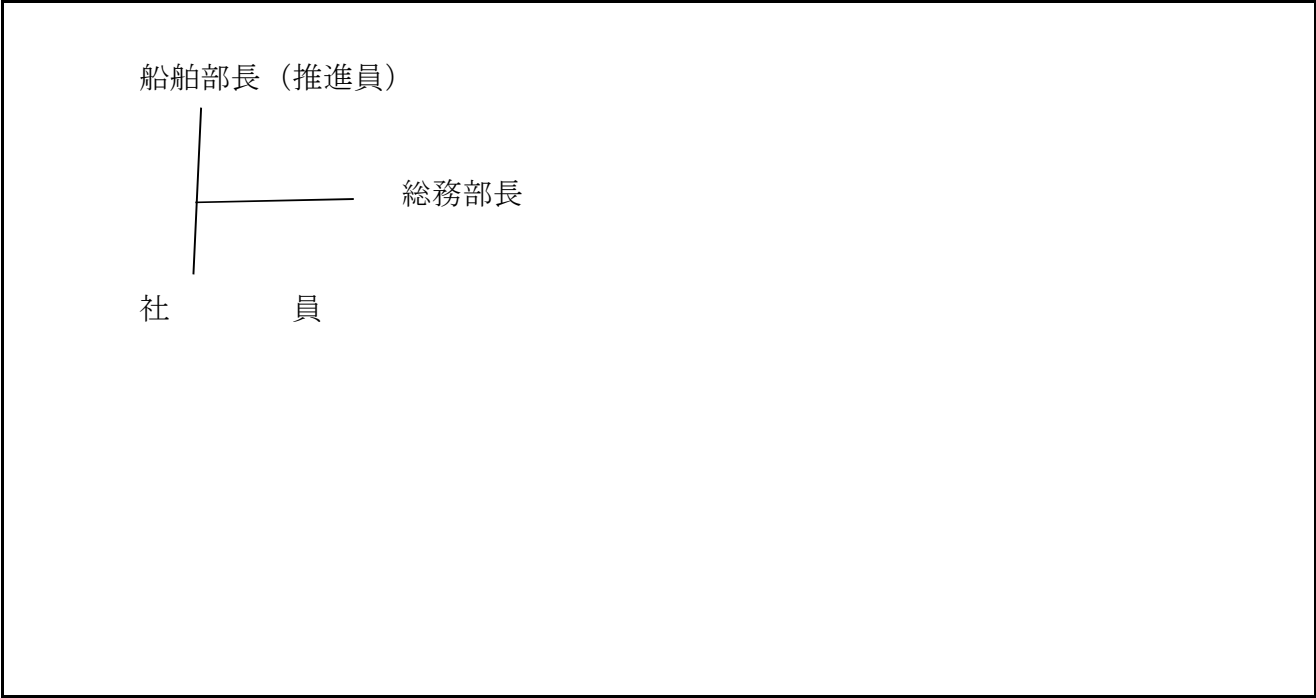
公表期間	令和6年6月24日 ～ 令和6年9月22日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 本社事務所
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-654-2249		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,005	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	4,005	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス総排出量	4,051	t-CO ₂	3,970	t-CO ₂	3,921	t-CO ₂	4,005	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			2.0	%	3.2	%	1.1	%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの排出量									
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりのみなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

基準年度の令和4年度に比べて1.1%の増加となったので、これからもっと努力していきたいとおもいます。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実施・冷暖房	・冷房温度28度、暖房温度20度の徹底。 ・必要時以外ノーネクタイ	・新しい事務所になって、エアコン及び照明機器もエコなものに変わったので、電気の使用量を減らしたい	
OA機器の省エネルギーの実施	・パソコン、コピー機等のOA機器の退社時の電源OFFの徹底。	・新しい事務所になって、OA機器も新しくなったので電気の使用量を減らしたいと思います。	
船舶の運航に関する対策	・船舶の主機関はできるだけ燃料消費量の少ないものを採用する。 ・回航時の減速運転の徹底。	・1隻新しく燃費のいい船になったので、燃料消費量をすこしでも減らしたいと思います。	
自動車の運転に関する対策	・急発進、急加速を控えエコドライブを推進する。 ・ドライブレコーダー設置による安全運転の意識向上。	・社用車も新しくハイブリッド車になったので、燃料の消費量を少しでも減らしたいと思います。	
廃棄物の排出制御	・廃棄物の分別回収の徹底。 ・リサイクルの推進。	・これからも廃棄物の分別には努力したいと思います。	

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・グリーン購入できるものは全てグリーン購入とした。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・定時退社を行った。
